



草加光陽育成会だより

誰もが尊重され

安心して暮らせる地域社会づくりのために

草加光陽育成会 会長 森田 とし子

平素よりご支援ご協力いただいております皆さまに心より御礼申し上げます。

近頃、何気ない会話の中に「合理的配慮」という言葉を聞くことができます。それは全国手をつなぐ育成会を先頭に私たち障がい者の親が長い間望んできたことです。スーパーマーケットやコンビニに並び方のシールが貼ってあると、どこに並んでよいか迷わず助かります。電車の駅に広い改札口があって大きな荷物を持つ時、小さな子どもを連れた時スムーズに通ることができて助かります。プラットホームではホームドアが増えてきて安心して電車を待つことができます。その他にもいろいろな場面で配慮がみられるようになりました。これは障がい者に向けた合理的配慮でしょうか?安心して暮らせる街づくりが進んできたということではないでしょうか。

病気や事故は誰にも起こる可能性があり、障害は誰にも生じるものです。

また、認知症や依存症、うつ症などの人たちが増えている今、障がい者手帳を持つ人だけを支援する時代ではないことを私たち障がい者の親も理解し、誰もが尊重され安心して暮らすことができる地域社会づくりを一人一人が考えていくことが大切だと思います。

草加光陽育成会では、障害のある方たちが社会の一員として自信もって暮していけることを願い、 アルバイト体験、イベントのボランティア、よさこい演舞など社会参加を進めていきます。

どこかでそんな場面に出会ったら、がんばっている仲間をあたたかく見守っていただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。





お天気も良く、楽しく踊りました!

新田西文化センターまつり

令和6年10月13日(日)

アルバイト体験

ホットドッグ、ハッシュドポテト、いももち、 コーヒー、雑貨の販売をしました。それぞれの 役割を果たし、笑顔で接客、販売、調理をでき ました







草加市危機管理課による

2024年9月26日(木)

障がいのある人とその家族のための防災セミナー開催





防災セミナーに参加して一番印象に残ったのが「正常化の偏見」です。

「自分は大丈夫」と、どこか心の中で思っていました。いつ、どこで、どんな災害が起こ るか分からないのに。災害への備え、正しい情報を集めることの大切さを改めて実感しま した。

また、避難所生活を送る事が難しい我が子ですが、自宅が倒壊していなければ、避難所 へ行かず自宅避難を勧めているのを知り少し安心しました。

そして、障がい別の備えや避難時の持ち物を記した冊子を参考に、我が子用の持ち物を 用意するなど出来ることから備えていきたいと思いました。

青柳太陽の家 保護者 笹倉

昨今の異常気象や震災等の情報が日々の私達の生活を不安にさせてはいるものの、さて 我が家の備えは、対策は、怪我をしてしまったらと、問われる今回の講習会では、デマに まどわされない情報収集、防災アプリの活用、避難所確認、ライフライン復旧までの必要 な行動などアドバイスいただきました。

気がかりは、急な環境変化や、家の中の様子の変化にも敏感な家族が、外へ避難するの はとても難しく、ならば、やはり、備蓄を日頃から備えて自宅避難する事が良いと勉強し ました。

これを機会に家族と話し合い、防災訓練等の行事を体験して、地域とのつながりを作り ながら過ごしていきたいです。

榮光の家 保護者 鈴木

令和6年12月発行 64号





草加市社会福祉協議会 功労者表彰式

11月20日(火)アコスホールにて

【受彰者より】

この度表彰いただきました事、大変恐縮しております。育成会の先輩の方々、会員の皆様方に感謝申し上げます。これからも微力ですが親の立場から障がい者福祉に貢献していきたいと思っております。

ありがとうございました。 れんげ草 根本

(受彰者左から 近藤さん 小松さん 根本さん 小川さん)

~ 社会福祉法人光陽会から ~

社会福祉法人光陽会 理事長 大橋 愛子

令和6年度も、あと 3 ヶ月を残すところとなりました。日頃より当法人へのご理解ご協力に感謝申し上げます。各施設の事業計画は、ほぼ予定通り執り行われています。

今年度に入り、昨今の利用者様のニーズ及び令和 6 年度障害福祉サービス等報酬改定により、希望の家をのぞく当法 人通所施設は、サービス提供時間を 30 分延長し、午前 9 時から午後 4 時までになりました。

また、草加市の委託を受けて運営しております、地域活動支援センターれんげ草(弁天 1-6-18)は、令和7年4月1日付けで障害福祉サービス事業所 生活介護施設として運営を予定しています。保護者会様へ過日説明させて頂きました。ただいま申請業務と、施設整備工事も間もなく開始されることになりますが、施設活動に影響がないように、また利用者様に事故がないよう、くれぐれも注意して進めていただきたいと、工事関係会社にも理解をいただいております。

尚、令和6年 10 月 31 日、埼玉県社会福祉大会に於きまして、当法人の役職員が次の通り受賞致しました。

【埼玉県知事表彰受賞者】 現に社会福祉施設職員・団体関係者・事業従事者として 18 年以上従事し、その功績等みとめられる者

理事・青柳太陽の家施設長 鈴木 真由美

西れんげ草施設長 大久保 賢一

【埼玉県社会福祉大会会長表彰受賞者】 現に施設団体の職員であって、その在籍期間が 15 年以上で、功績顕著な者

事務局長補佐·統括会計責任者 橋本 由美子

西れんげ草主査 古田島 玲子

この場をお借りして、報告させて頂きます。

日頃、皆様からのご指導・ご協力のおかげです。感謝申し上げます。職員一同、研鑽を積み利用者様に寄り添い、支援に 努め参ります。また、地域福祉に貢献して参ります。

最後に、当法人理事の小澤 進様が令和6年4月28日に逝去されました。小澤様は、所有する土地に知的障がい者 通所施設設置をと申し出られ、施設の建設費用にと多額のご寄付をいただき、谷塚町に榮光の家を設置することが出来き ました。この場をお借りして、ご冥福をお祈り申し上げます。

令和 6 年度賛助会員

草加市図書館文化を守る会 会長 井出和志 様 草加松原ロータリークラブ 社会奉仕委員長 佐々木 一男様 草加松原ロータリークラブ 草加市商店連合事業協同組合 税理士法人 L&Cアシスト 長谷部 健一様 ボランティア草加連絡協会 会長 齋藤幸子 様 光陽会評議員選任·解任委員会委員長 内藤 一夫 様 シルバー化粧品 社 長 竹村 喜美子様 株式会社ウシヤマ設計 代表取締役 牛山 信康 様 社会福祉法人光陽会 理 事 佐藤 冷子 様 草加光陽育成会 顧問 秋山 恵美子様 社会福祉法人 光陽会 理事長 大橋 愛子 様 光輪の家 家主 平林年男 様 希望の家 施主

※順不同

※お名前の掲載許可を頂いた個人・団体の皆さまのみ

賛助会員募集中

賛助会員を募集しております。 詳しくは、お近くの会員にご連絡く ださい。もしくは、ホームページをご 覧ください。





333

https://www.soka-kouyouikuseikai.com/

•• 編集後記 •• コロナ禍での ICT 活用が急速に進み、会話が断片的になり長い会話ができなくなる、対面でのコミュニケーション能力が低下していると言われています。ICT を使い過ぎず対面での会話も大切にしたいと思いました。今号の発行にあたり、ご協力頂きました会員様および関係者の方々に厚くお礼申し上げます。 広報 田中・川井